

# Mercato

メルカート

東北情報通信懇談会

VOL.  
**104**  
2022  
SPRING

## 1 特集 Part I

地域創生の更なる推進に向けて  
～地域の皆さまと共に、地域社会の活性化を実現～  
(NTT東日本グループが進める地方創生の取り組み)

## 6 特集 Part II

SPARK! TOHOKU 2021 Startup Pitch  
～起業家甲子園・起業家万博東北大会を開催

## 9 特集 Part III

オンラインセミナー「電波利用による地域活性化の推進」を開催しました  
～ローカル5Gなど電波利用による地域活性化を～

### 11 未来への提言

コロナ禍で加速した地域情報のネット発信

株式会社東日本放送 代表取締役社長 佐藤 吉雄

### 12 時空を超える十七音

雲の峰

### 13 まちづくり風土記

岩手県岩手町

### 16 風起ちぬ

「クリエイティブな若い人たちが東北で活躍出来る場を作る」

株式会社 コー・ワークス 代表取締役CEO 淡路 義和

### 17 MEDIA of VISION

伝統音楽(津軽三味線)保存用“夢の自動採譜装置”の実現と今後の展開

— 東北の地から世界へ発信 —

八戸工業大学大学院 教授 小坂谷 壽一

### 21 地域のICTレポート

広報の手法も、働き方も、ICTの発想が必要

株式会社 創重舎

### 22 おたより

「やまがたデジタルフェア」を開催しました。

「5G・IoT・AIコンソーシアム」幹事・「山形県デジタルコンテンツ協議会」事務局

(株式会社デジコンキューブ 代表取締役社長) 岩瀬 義和

東北情報通信懇談会  
ホームページ



<https://mercato.gr.jp/>



東北総合通信局は、東北の地方公共団体等とともに、東北地域から革新的な技術やサービスを有するICTスタートアップを創出することを目的としたピッチイベント“SPARK! TOHOKU 2021 Startup Pitch”を令和3年12月19日(日)に開催しましたので、その模様を紹介します。

## 概要

「SPARK! TOHOKU 2021 Startup Pitch」は、地域のICTスタートアップ支援を目的に総務省と国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が開催する「起業家甲子園」(学生対象)・「起業家万博」(若手起業家対象)の地区予選大会です。

今年度は当局含む実行委員会<sup>\*1</sup>主催のもと、東北情報通信懇談会の共催をはじめ、昨年よりも更に多くの企業のご協力<sup>\*2</sup>・ご協賛<sup>\*3</sup>をいただき、大いに盛り上がりを見せました。昨年に引き続き「起業家甲子園」・「起業家万博」両部門でNICT賞(全国大会への挑戦権を獲得)受賞者が選出されました。

※1 実行委員会を構成する団体

仙台市、会津若松市、郡山市、滝沢市、八幡平市、国立大学法人東北大学、公立大学法人会津大学、エイチタス株式会社、一般社団法人EO North Japan、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(MURC)、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、総務省東北総合通信局

※2 協力団体(五十音順)

仙台スタートアップエコシステム推進協議会、東日本電信電話株式会社 宮城事業部

※3 協賛団体(五十音順)

アイリスオーヤマ株式会社、株式会社秋田銀行、いわぎん事業創造キャピタル株式会社、株式会社NTTドコモ東北支社、KDDI株式会社、株式会社七十七銀行、東北電力株式会社、株式会社三菱UFJ銀行

### スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● 全国起業家応援団連携会議	● SPARK! TOHOKU 2021 実行委員会 キックオフ	● 報道発表(公募開始)	● 公募期間 ~10/16	● 審査	● 報道発表(出場者決定・観覧者募集)	● ブラッシュアップセミナー	● SPARK! TOHOKU 2021 Startup Pitch	● 起業家甲子園 起業家万博
					→ フォローアップ メンタリング		→ NICT賞受賞者メンタリング	

## ブラッシュアップセミナー：11月14日(日)、オンライン開催

ICTメンタープラットフォーム<sup>\*</sup>庄子素史氏(ソーシャルワイヤー株式会社)によるビジネスモデルの考え方やピッチの組立て方の講義後、同じくICTメンターの杉原美智子氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)と実行委員会の原亮氏(エイチタス株式会社)を加えた計3名のメンターのもと、各参加者が行ったプレゼンテーションやビジネスプランについてアドバイスを受けました。さらに後日、希望者はメンターから追加メンタリングを受け、大会に臨みました。



※ NICTが実施する地域発のICTスタートアップ創出プログラムの趣旨に賛同してプログラム実施に協力するメンター陣。

## SPARK! TOHOKU 2021 Startup Pitch (当日のプログラム)

- 開会挨拶 東北総合通信局長 杉野 勲
- 会場紹介 NTT東日本 宮城事業部 森 勝哉 氏

NTT東日本の森氏より、本大会会場である「スマートイノベーションラボ仙台」のご紹介と、「仙台スタートアップエコシステム」に資する産学官連携の取組みについてご説明がありました。

### ● 各賞の紹介

司会の原氏から、優れた発表を行ったチームへ贈られる各賞をご紹介いただきました。協賛各社のご協力で、昨年度以上に多くの賞が用意されました(審査結果とともに次々項に記載)。



NTT東日本 宮城事業部 森 勝哉 氏

## ●オープニングトーク

原氏の進行のもと、3名の審査員\*に地域発のスタートアップをテーマに議論を行っていただきました。東北におけるスタートアップエコシステム形成の現状や今後の展望等について熱く語っていただきました。

※審査員

- ・NICT ICTメンタープラットフォーム メンター 庄子 素史氏（ソーシャルワイヤー株式会社 取締役副社長）
- ・株式会社MAKOTO代表取締役 竹井 智宏氏
- ・一般社団法人EO North Japan 池田 友喜氏（株式会社チェンジ・ザ・ワールド代表取締役）



## ●Pitch

出場者は、各自のビジネスプランについて熱のこもったプレゼンテーションを行い、審査員と質疑応答を行いました。各ビジネスプランの概要は以下のとおりです。

### 〈起業家甲子園（学生）部門 Pitch概要〉

#### ●東北大学未来型医療創造卓越大学院チーム 下川 大輝 氏

『AILE ～離れていても繋がっている新たな家族のカタチでめざすフレイル予防～』

AI画像認識センサーを搭載したスマートピクチャ型デバイスを通し、離れた家族とのつながりを感じながら高齢家族の歩行動作を解析することで、加齢による身体機能の変化を測定しフレイルリスクの早期察知・対策につなげる介護予防サービス。



#### ●仙台高専高橋研究室チーム 安食 優磨 氏

『仮想学校』

テスト成績や部活動での活躍に応じたアバターアイテムの授与などのゲーミフィケーションを取り入れたVR空間に創造した学校により、オンライン上で普通の学校生活を再現するサービス。



#### ●仙台高専千葉研究室チーム 佐藤 優輝 氏

『IoT防犯ブザーを活用した子供の地域防犯システム』

GPSや加速度センサーを搭載したIoT防犯ブザー用いて、子どもの登下校時の異常を察知し、保護者だけでなく地域の「見守り隊」に通知する、地域包括型の見守りシステム。



### 〈起業家万博（若手起業家）部門 Pitch概要〉

#### ●輝翠TECH株式会社 Tamir Blum氏（出場者 神山 真由 氏）

『果樹園用AIロボット』

月面探査技術を駆使し、自動運搬や防犯パトロール、草刈りや農薬散布などが可能な、オペレーター不要の多機能果樹園用ロボット。



#### ●株式会社弘栄ドリームワークス 菅原 康弘 氏

『パイプ探査ロボット「配管くん®」を活用した、設備業DX化の推進』

パイプ探査ロボットにより、配管設備が見える化し、さらに配管の異常を正確な位置情報と共に把握出来るサービス。



#### ●関口 雄介 氏

『リハビリの「質」向上につながる歩行診断AIの事業化』

AIにより歩行を定量評価することでリハビリテーションの質を向上させ、それぞれの医療従事者の能力に左右されない個人に適したサービスの提供。



#### ●株式会社オーナー 佐々木 敦斗 氏

『世界中の人の「オーナーシップ」を高めるICT教材「GATEWAY』』

学生が自身の将来の生き方やあり方を意欲的かつ主体的に考えるきっかけとなる、webプラットフォーム上のICTキャリア探求教材。



#### ●榊 朝子 氏

『Bosai Baby』

成長により必需品が変わっていく乳幼児期に焦点を当てた、AIを活用しパーソナライズした防災リュックの提供。



#### ●株式会社CARESPACE 三浦 亮 氏

『ケアマネジャーと介護事業所をつなぐプラットフォーム「CareSpace』』

多数の介護事業所との業務を一元管理することで、ケアマネジャーの効率的な業務を推進するプラットフォームサービス。



## ● 結果

### ● NICT賞（甲子園部門）



東北大学未来型医療  
創造卓越大学院チーム  
下川氏  
(ICTメンター庄子氏)

### ● NICT賞（万博部門）



(株) 弘栄ドリームワークス  
菅原氏

### ● 東北総合通信局長賞（甲子園部門）



仙台高専高橋研究室  
チーム  
安食氏  
(東北総合通信局杉野)

### ▼ 東北総合通信局長賞（万博部門）



(株) CARESPACE  
三浦氏

### ● 仙台市長賞（甲子園部門）



東北大学未来型医療  
創造卓越大学院チーム  
下川氏  
(仙台市白川氏)

### ● 仙台市長賞（万博部門）



榊氏

※副賞：仙台市主催アクセラレーションプログラム参加券

### ● EO賞（甲子園部門）



仙台高専千葉研究室  
チーム  
佐藤氏  
(EONJ池田氏)

### ● EO賞（万博部門）



榊氏

※副賞：EO North Japan月例会無料参加チケット 1回分

### ● NTTドコモ賞（甲子園部門）



東北大学未来型医療  
創造卓越大学院チーム  
下川氏  
(NTTドコモ上野氏)

### ● NTTドコモ賞（万博部門）



榊氏

※副賞：ドコモベンチャーズ社員によるメンタリング実施

### ● KDDI賞（甲子園部門のみ）



下川氏・安食氏・佐藤氏  
(KDDI片岡氏)

### ● 三菱UFJ銀行賞（万博部門のみ）



(株) 弘栄ドリームワークス  
菅原氏  
(三菱UFJ銀行小宮山氏)

※副賞：起業のためのe-ラーニングコンテンツの提供

※副賞：ビジネスマッチング機会の提供

## ● 講評

審査員を務めた庄子氏より講評をいただきました。自分ごととして課題を感じることや、誰が何に困っていて、それに対しどの程度の対価を許容出来るかといった目線を常に忘れないことの重要性などについてお話がありました。また、本イベントは昨年度より更に活気が増したので、今後も共に東北を盛り上げようとのお言葉もいただきました。



## ● 閉会メッセージ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 杉原 美智子 氏

## 起業者甲子園及び起業者万博について

NICT賞を受賞した東北大学未来型医療創造卓越大学院チーム（甲子園部門）と株式会社弘栄ドリームワークス（万博部門）は、地域発ICTスタートアップ創出に向けた全国アクセラレータ・プログラム最終イベントの「起業者甲子園」・「起業者万博」（令和4年3月8日・9日）に東北地区代表として出場しました。当日はリアルタイム配信されました。当日の様子は下記ホームページをご参照ください。

[https://www.nict.go.jp/venture/ec2\\_2021.html](https://www.nict.go.jp/venture/ec2_2021.html)

# オンラインセミナー 「電波利用による地域活性化の推進」を開催しました ～ローカル5Gなど電波利用による地域活性化を～

東北5Gデジタル変革推進フォーラム 事務局  
(東北総合通信局無線通信部電波利用企画課)

東北5Gデジタル変革推進フォーラムは、東北総合通信局等との共催で、令和4年1月24日(月)、オンラインセミナー「電波利用による地域活性化の推進」を開催しましたので、その模様を紹介します。

東北5Gデジタル変革推進フォーラムは、東北総合通信局、東北情報通信懇談会及び電波利用推進東北フォーラムとの共催で、令和4年1月24日(月)、東北地域の5G、ローカル5Gの普及促進を図ることを目的として、オンラインセミナー「電波利用による地域活性化の推進」をZoomによるライブ配信により開催しました。

第5世代移動通信システム(5G)は、高速道路や新幹線と同様、地域の発展に不可欠な次世代の基幹インフラとして、幅広い分野における活用が期待されています。今後、5Gやローカル5Gが社会をどのように変え、地域課題の解決に資するののかについて、総務省情報流通行政局地域通信振興課デジタル経済推進室課長補佐 小笠原 康一郎 氏 及び 株式会社G o o l i g h tメディア推進本部長 山岸 慎治 氏 にご講演をいただきました。

総務省の小笠原氏からは「ローカル5Gの普及展開に向けて」と題して、ローカル5Gの制度説明から、総務省におけるローカル5Gの普及促進の取組として「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証事業」の採択事例の紹介、令和3年度補正予算及び令和4年度当初予算による「ローカル5G開発実証事業」のスケジュールなどが説明されました。

長野県須坂市、小布施町、高山村をサービスエリアとするケーブルテレビ事業者、株式会社G o o l i g h tの山岸氏からは、「5G×スラックライン ニュースポーツから生まれる新しい地方創生」と題して講演が行われました。

スラックラインとは、二点間を貼り渡したラインの上で宙返りなどのアクロバティックな演技を行うニュースポーツ。小布施町では、近年、若者を中心にスラックラインが盛んに行われており、G o o l i g h tは平成30年に総務省が開催した「5G利活用アイデアコンテスト」に応募し、スラックラインを絡めた地域活性化について提案しました。



総務省情報流通行政局地域通信振興課  
デジタル経済推進室課長補佐 小笠原 康一郎 氏

その提案が、令和元年に小布施町で開催されたワールドカップ大会において、総務省5G総合実証試験として実現されました。4K映像に技の難易度、高さなどの情報を合成して会場内の大型モニターに5Gでリアルタイム伝送するとともに、観戦者がラインの振動を疑似体験できるよう、5Gの超低遅延伝送で特別シートに送信され、観戦者と選手との一体感を醸成しました。

また、Goolightは小布施町に「ローカル4G」ともいえる地域BWA（ブロードバンド・ワイヤレス・アクセス）を全域に整備し、町とともに防災や水道の自動検針などのセンサーネットワークとして様々な分野において活用することとしています。なお、地域BWAは、将来的には「ローカル5G」に移行することとしています。



**Goolight 総務省 令和元年度5G総合実証試験**  
**5Gで実現した新しいスポーツ観戦**

4K映像に技の難易度、高さなどを合成し、5Gの高速大容量を活かし、会場内の大型モニターにリアルタイム伝送

観戦者がラインの振動を疑似体験できるよう、5Gの超低遅延伝送で、特別シートに送信。選手との一体感を実現

4K映像の伝送  
 4Kカメラ  
 モーションカメラ(高さ判定)  
 ボタン(難易度判定)  
 スタックライン観戦

5G伝送  
 5G伝送  
 5G伝送  
 5G伝送

5G伝送  
 スタックラインの振動の伝送

観戦者

ルールの理解浸透  
大会の盛り上げ

ニュースポーツの  
魅力発信

<http://www.goolight.co.jp/>  
 Copyright (C) 2020 Goolight Co., Ltd. All Rights Reserved.

**Goolight 小布施町 地域BWA基地局設置とサービスエリア**

【地域BWAについて】  
 ・地域公共サービスの向上とデジタルデバイドの解消などを目的として、自治体から同意を得て利活用する通信回線

・2575~2595MH(BAND41)の独自の周波数帯の電波となっており、災害時継続しにくい。

【小布施町の整備状況について】  
 ・あけびの湯 2019年6月運用開始  
 ・飯田・押羽・六川・役場 2021年7月稼働開始

⇒小布施町内全域がサービスエリアに

半徑2キロの円内にほとんどが収まるコンパクトな小さな町

<http://www.goolight.co.jp/>  
 Copyright (C) 2020 Goolight Co., Ltd. All Rights Reserved.

**Goolight 小布施町での地域BWAの利活用について**

地域BWAの将来(3~5年後)展開

- ◆地域BWA設備をベースに「ローカル5G」サービスへ移行
- ◆ローカル5Gの整備により、行政機関・医療機関・学校・企業・防災分野・農業分野・観光分野等で「超高速」「超低遅延」「多数同時接続」の足回りを整備

Goolightは既存インフラを活かしたローカル5Gのシステム構築と運用で地域住民が住みやすい環境整備や4Kコンテンツ配信など様々なサービスの提供を目指す

→今後のビジネス化を検討

<http://www.goolight.co.jp/>  
 Copyright (C) 2020 Goolight Co., Ltd. All Rights Reserved.

株式会社 Goolight メディア推進本部長 山岸 慎治 氏

最後に、質疑応答として、講演者とセミナー参加者との意見交換も活発に行われました。

東北5Gデジタル変革推進フォーラムでは、引き続き、東北総合通信局や東北情報通信懇談会を始めとする関係団体と協力し、5Gの制度説明や活用事例についてのセミナー等を開催するなど、東北地域における5G導入支援を行っていきます。

### 東北5Gデジタル変革推進フォーラム

デジタル変革とそれを支える5Gに関心を有する東北の産学官の結節点となり、東北地域における5Gを活用したデジタル変革を推進することにより、東北地域の更なる発展に寄与することを目的として、令和2年11月に設置された任意団体です。会員数は100名を超えています。(令和4年1月現在)

上記の目的を達成するため、5G、ローカル5G、デジタル変革等に関する情報の提供・共有、検討・導入の支援等の活動を行っています。

E-mail: 5G@soumu.go.jp

URL : [https://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/5g\\_forum.html](https://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/5g_forum.html)